

Tohoku Gakuin Alumni Association

LUX MUNDI

東北学院同窓会報 [ルクス・ムンディ～世の光～]

Vol.28 2025.12



通信

LIFE LIGHT LOVE 20万人が繋ぐ、TGコミュニケーション



東北学院大学

[大学院]

文学研究科(博士課程) / 英語英文学専攻・ヨーロッパ文化史専攻・アジア文化史専攻

経済学研究科(博士課程) / 経済学専攻
(修士課程) / 経済データサイエンス専攻

経営学研究科(修士課程) / 経営学専攻

法学研究科(博士課程) / 法律学専攻

工学研究科(博士課程) / 機械工学専攻・電気工学専攻・電子工学専攻・環境建設工学専攻

人間情報学研究科(博士課程) / 人間情報学専攻

[学部]

文学部 / 英文学科・総合人文学科・歴史学科・教育学科

経済学部 / 経済学科・共生社会経済学科 (2023年4月募集停止)

経営学部 / 経営学科

法学部 / 法律学科

工学部 / 機械知能工学科・電気電子工学科・環境建設工学科・情報基盤工学科 (2023年4月募集停止)

教養学部 / 人間科学科・言語文化学科・情報科学科・地域構想学科 (2023年4月募集停止)

地域総合学部 / 地域コミュニティ学科・政策デザイン学科

情報学部 / データサイエンス学科

人間科学部 / 心理行動科学科

国際学部 / 国際教養学科

土樋キャンパス

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 TEL.022-264-6421

五橋キャンパス

〒984-8588 仙台市若林区清水小路3番1号 TEL.022-354-8100

泉キャンパス

〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号

東北学院中学校・高等学校

[東北学院中学校]

特別選抜コース / **総合コース**

[東北学院高等学校]

特別選抜コース / **特別進学コース** / **総合進学コース** / **TGコース**

〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1 TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

東北学院榴ヶ岡高等学校

特別進学コース / **TG選抜コース** / **総合進学コース**

〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号 TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

東北学院幼稚園

〒985-0862 多賀城市高崎三丁目7番7号 TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655

01 学校法人 東北学院 概要

02 特集 Change! 2025

東北学院同窓会 参与 / 東北学院榴ヶ岡高等学校 校長
河本 和文

06 躍動する同窓生 ～世代を超えたTGの輪～

株式会社仙台銀行
頭取 坂爪 敏雄

株式会社ユアテック
代表取締役社長 社長執行役員 小林 郁見

株式会社鐘崎
代表取締役社長 嘉藤 明美

15 TGギャラリー

16 懐かしい風 新しい出会い～同窓生のお店を訪ねて～

Dolf.(ドルフ)
オーナー・バンケーカー 高屋 風我

18 代議員会報告 / 収支決算書

20 Faces この人 この顔

東北学院同窓会 近畿支部 支部長 国吉 毅

21 TGネットワーク

巻末 校友課より

LUX MUNDI

Tohoku Gakuin Alumni Association

東北学院同窓会報

[ルクス・ムンディ～世の光～]

Vol.28 2025.12

表題 ～Lux Mundi(世の光)～

「Lux Mundi(ルクス・ムンディ)」は、ラテン語で「世の光」を意味します。「世の光 わがほこり」と校歌にも出てきますので、東北学院で学んだ方々には馴染み深いものがあると思います。「ルクス・ムンディ(世の光)」は、いうまでもなく東北学院の真の創設者イエス・キリストのことです。そのキリストの光に導かれて、それぞれの人生を歩んでいただきたいとの願いが込められています。



東北学院榴ヶ岡高等学校

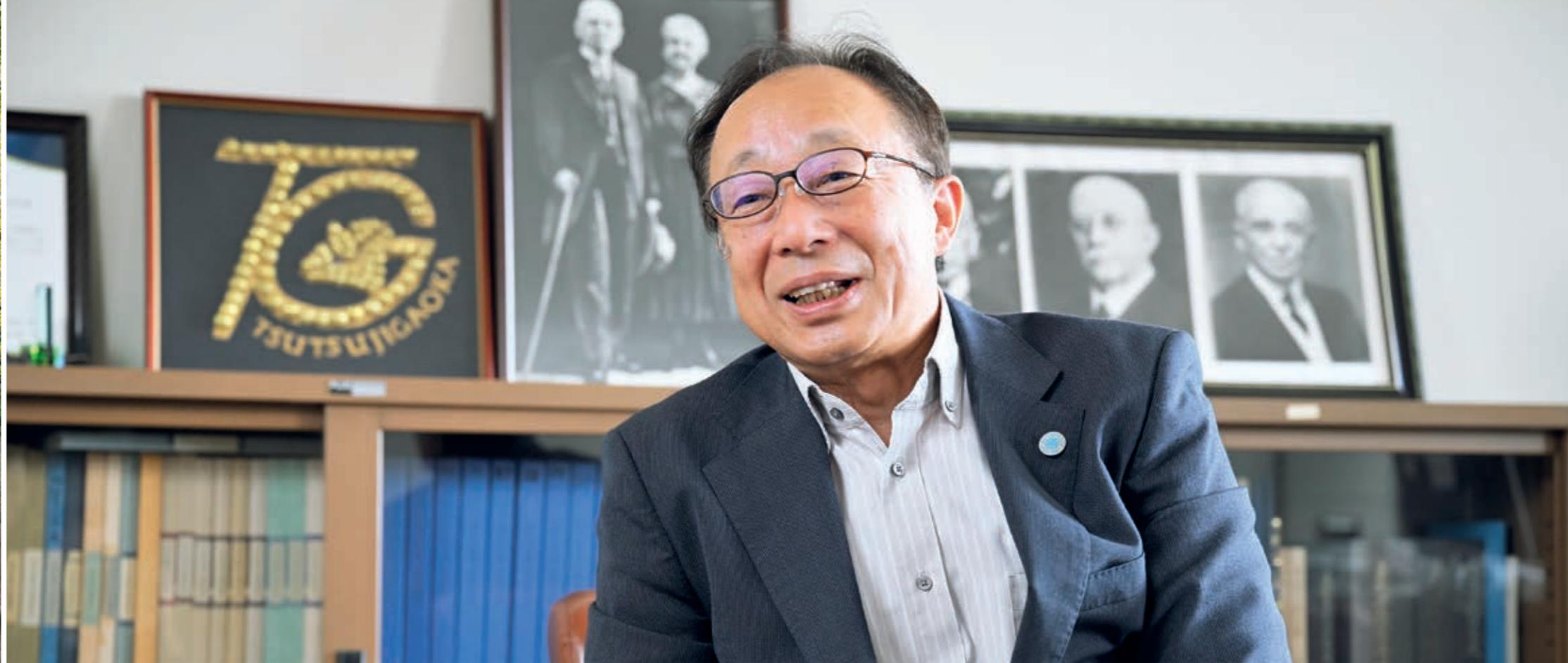
表紙

東北学院榴ヶ岡高等学校

東北学院榴ヶ岡高校の校舎は増築を重ねて使用されており、最も古い建物は築50年を超え、老朽化が進んでいました。

一方、東北学院大学ではキャンパスの再編が進められ、泉キャンパスも仙台駅近くに新設された五橋キャンパスに移転。その跡地の利活用計画として、同高校は大学が使用していた泉キャンパス2号館へ移転しました。

大学のキャンパスに移転したことで、大人数によるコースの枠を超えた授業展開が可能となり、生徒にとっても広々とした施設で過ごすことで学習環境がより充実。学習意欲の向上が大いに期待されます。



Change! 2025

明るい校舎に満ちる 学ぶ力とサポートの輪

—— 東北学院榴ヶ岡高等学校

新たな空間が引き出す一人ひとりの意欲 目標に向かって頑張れる新校舎

東北学院同窓会 参与
東北学院榴ヶ岡高等学校 校長

河本 和文

かわもと かずふみ

profile

昭和52年東北学院榴ヶ岡高等学校卒業。昭和58年3月東京理科大学理学部数学科卒業、同年宮城県公立高校教員。平成18年教育庁指導主事、平成24年伊具高等学校教頭、平成26年総合教育センター次長、平成28年名取高等学校校長を歴任。平成29年東北学院榴ヶ岡高等学校副校長に就任し、令和3年4月東北学院榴ヶ岡高等学校校長。「息子の習い事を応援することが何よりの楽しみです」と語る。

学びの意欲を引き出す 広く明るい環境

本校は以前、仙台市の東、宮城野区榴岡に東北学院高等学校榴ヶ岡校舎という名称で校舎を構えていました。東北学院榴ヶ岡高等学校として独立したのは、1972年のことです。最初に建てられた南校舎は築50年を超え、東日本大震災にも耐えてきた歴史ある建物でしたが、老朽化が進んでいました。さらに、私たちは2019年に3つのコース制を導入し、2021年には進学重視型単位制へ移行。より柔軟で現代的な教育環境を整備するとともに、それに対応するための新しい学び舎を求めました。そして、ちょうどその頃、2023年に東北学院大学が五橋キャンパスに集約され、学生も五橋キャンパスに移ることで、泉キャンパスは使用されることが決まりました。その後、同キャンパスの整備計画の中で、校舎の利活用を検討していた時期が、本校が新しい校舎を求めたタイミングと一致し、私たちは泉キャンパスの2号館に移転する形になりました。

使い、他の教室は固定の長机を撤去して床を修復し、従来の机と椅子を入れました。100人規模の大教室に40人が入ると広いスペースができ、講義用の机や椅子のほかにミーティングスペースも教室内に取れるようになります。廊下やホールも広く、昼食をとったり、自主学習をしたりする姿も見られます。保護者の皆さんを対象にした授業見学会を行っても十分なスペースがあり、研究授業の公開にも適しています。

旧校舎には趣がりましたが、長い年月の中で継ぎ足して建築してきたため、建物の構造が複雑で避難経路も分かりにくく、心配される面もありました。しかし、今回の移転によって安全面も大きく改善されました。避難訓練もスムーズで、安心して教育活動を行えるようになりました。

また、空調の刷新も功を奏し、夏場でも快適に授業を受けられるようになりました。オープンキャンパスに来られた生徒さんや保護者の方々から「近代的で明るい印象」と好評です。生徒の満足度は高く、今年是新入生が373名と増加しましたし、新しい環境が生徒たちの心によい変化をもたらしていると感じます。私たち教職員も「移転してよかった」と



日々、実感しています。ただ、体育の授業は、旧校舎で使っていたアリーナを継続して使用していますので、移動に少し時間がかかる点が課題となっています。徒歩で移動することから、これからの季節、冬場に雪が降ったり、路面が凍結した場合などを考慮して、安全に移動できるよう対策を検討しているところです。

「個別最適」と「協働的な学び」で地域に貢献する人材を育む

本校の教育理念は、東北学院の建学の精神に基づく「社会や地域に貢献する人材の育成」です。泉キャンパスへの移転によって、地域に開かれた教育活動がより進めやすくなりました。外部の講師を招いた授業や、地域行事への参加など、学びを地域とつなげる試みを重ねています。

学習面では、文部科学省が掲げる「個別最適な学び」と「協働的な学び」を柱に、習熟度別授業を展開しています。難関大学を目指す生徒から、基礎をじっくり固めたい生徒まで、幅広い層が同じ校舎で互いに刺激を受けながら学んでいます。また、本校では教員の指導力向上にも力を入れており、年に2回の授業力向上研修を実施しています。夏休みには外部講師を招き、ワークショップ形

式で授業改善を進めています。秋には本校の生徒を対象に他校の先生方を招き、公開授業と研究会を行っています。今年は東北学院中学校・高等学校の先生に数学の授業をしていただき、両校連携による教育力向上にも手応えを得ました。今後は法人全体での「設置校将来構想」に基づき、連携をさらに深めていく方針です。

**人と人の信頼で築く
これからの学校経営**

私はもともと公立高校で教員としており、校長を務めていた際に本校へのお声がけをいただきました。榴ヶ岡の卒業生として母校に戻れる喜びがある一方で、私立高校の経営という未知の課題には正直、不安もありました。副校長として4年間

勤務した後、令和3年4月に校長に就任しました。ちょうど学校教育法の改正により、校長がリーダーシップを発揮して学校の特色をつくることが求められるようになった時期でした。

最初のうちは戸惑うことも多くありましたが、何よりありがたかったのは、教職員が課題に真面目から向き合ってくれたことです。副校長、教頭をはじめ、誠実で前向きなスタップに恵まれたことで、学校全体が同じ方向を向いて歩むことができました。

榴ヶ岡の伝統であるアットホームな雰囲気大切にしながら、新しい教育の形を模索する。その両立を支えてくれるのは人の力です。信頼関係に支えられた職員の団結力こそが、これからの学校づくりの原動力だと感じています。

**応援の輪が
在校生の力になる**

東北学院の特徴は、東北学院大学・東北学院中高・榴ヶ岡が一体となった強い同窓の絆です。

本校でも多くの卒業生が、さまざまな場面で支援の手を差し伸べてくださいます。例えば、今年夏の高校野球県大会で決勝戦に進出した際、3700名を超える観客が応援に



駆けつけました。その多くが東北学院関係者であり、生徒たちはその熱気に大きな感動を覚えました。水も無償で提供してくださった卒業生の方もおり、温かな支援に励まされています。

また、同窓会からは毎年奨学金の援助をいただいております。各地の支部でも卒業生が母校を気にかけてくださっています。離れていても心は母校にあり、「応援したい」という思いが本校を動かす力になっています。各校が共通の校歌を持つことも、東北学院全体の一体感を象徴しています。試合で校歌が流れると、卒業生の心が一つになるのを感じます。これからも、東北学院を支えてくださる多くの同窓生とともに、次の世代へとバトンをつなげていきたいと思っています。





「人を大事にする」を胸に 地域に寄り添い、 未来を支えてまいります

Interview with The President



株式会社仙台銀行
頭取

坂爪 敏雄

(さかづめ・としお)

平成3年東北学院大学経済学部商学科卒

東北学院大学経済学部を卒業後、仙台銀行に入行。取締役融資部長兼管理部長、常務取締役営業本部長兼地元企業応援部長などを歴任し、2024年6月より現職。同年9月、じもとホールディングス代表取締役社長に就任した。趣味はゴルフ。

地域の中小企業とともに 成長を続ける銀行として

当行は1951年7月に、宮城県より4割の出資を受けて誕生した銀行です。創業から74年を数える歴史の中で、地域の中小企業を支援・育成することを理念として歩んでまいりました。また東日本大震災以降は、震災復興と地域活性化のため、金融仲介機能の発揮に努めてまいりました。その結果、取引先数、貸出金残高は大きく増加し、それに合わせて当行自身も順調に業績を伸ばしてきました。特に、貸出金は震災から14年間で約2倍、そのうち中小企業向けの融資は約2.5倍に増加しました。私たちの強みは、スピード感をもった対応と、お客さま一社に合わせたオーダーメイド型の融資で、震災復興やコロナ支援を積極的に行ってきた成果であると自負しています。

4つの重点分野で 未来への挑戦を続ける

昨年6月に頭取を拝命したとき、最初に胸に浮かんだのは「私に務まるのか」という不安でした。しかし迷いを振り切り、覚悟を固めて歩み出しました。銀行は信用と信頼の積み重ねで成り立ちます。諸先輩方が築き上げた土台を受け継ぎ、さらに磨きをかけることが私の責務です。

そして現在、当行が重点を置いているのは4つの分野です。1つ目は、事業者の成長に貢献し、お客さまを増やし続けることです。中小企業の成長を後押しするための迅速かつ柔軟な融資で貢献してまいります。2つ目は、個人のお客さまへのサービス拡充によって、多様なライフコンサルティングを提供することです。デジタル化を進め、インターネットバンキングやアプリの使い勝手を高

信為萬事大成

世代を超えたTGの輪

躍動する同窓生

PROGRESS



地元を軸足に置き、世界へ 対話を重視して人財を育成し、 成長分野への展開を進めます。

Interview with The President



株式会社ユアテック
代表取締役社長 社長執行役員

小林 郁見

(こばやし・いくみ)

昭和56年東北学院大学工学部電気工学科卒
ユアテックTG会 顧問

東北学院大学工学部電気工学科を卒業後、ユアテックの前身である東北電気工事に入社。経営企画から営業、安全衛生・品質管理などの部署を経験。2016年6月に取締役常務執行役員、22年6月に取締役副社長執行役員に就任し、今年4月より現職。趣味は花木や観葉植物の手入れ。



世代を超えたTGの輪

躍動する同窓生

PROGRESS

地域との絆を育み 職員とともに歩む

めることで、日常生活の中で頼られる銀行を目指します。3つ目は、宮城県の地方創生に貢献することです。半導体工場誘致の話は残念ながら実現しませんが、宮城・仙台の経済には大きな発展の可能性がります。新産業の誘致や地元企業との連携を進め、SBIグループの力も活用しながら、地域の成長に貢献してまいります。そして4つ目は、職員が楽しみながら仕事に取り組み、自己実現と成長を後押しできる組織であり続けることです。当行は経営ビジョンとして「人で勝負する銀行」を掲げており、「人を大事にする」という考え方が根づいています。私自身も、それを若いころから感じてきました。この文化を受け継ぎ、一人ひとりの成長の原動力として育み、進化させて組織の発展につなげていきたいと思っています。

地域とともに歩む姿勢は、仙台銀行の伝統でもあります。震災後に立ち上がった「地元企業応援部」は、事業承継や人手不足といった課題にも対応し、地域課題解決の拠点となっています。この部署の名称を考えているとき、最初に「地元企業応援部」という名称に対して、「直球すぎるのではないか」との声もありましたが、いまでは多くの方に親しまれ、私自身も誇りに感じています。

また、業務内容に直結するものではありませんが、当行には「ずめ踊り部」じもと応援ずめ組」があります。地元のみならず長年にわたって参加しており、10年前に正式な「部」となりました。全国でも踊りの部がある銀行は珍しいと思いますが、今年は42名の新入社員のうち、10人が自ら入部を希望しました。彼らはコロナ禍で人との交流が限られてきた世代ということもあり、大勢で1つのものをつくり上げる経験が新鮮

で、今年も5月に開催された仙台青葉まつりへの参加を経験し、「心から楽しかった」と話す声を聞き、私も大変うれしかったです。

学生時代に培った力を いまの事業に活かして

振り返ってみますと、大学時代は勉強はもとより、アルバイトにも精を出していました。楽器店での店頭販売や建設・土木の現場、食品加工工場や配送、引越し業など多様なアルバイトに励み、家業であるギフトの卸も手伝っていたことから、それらを通して幅広い経験を積むことができたと思います。また、父の仕事を手伝っていたときのことを思い返してみますと、電話の向こうの見えない相手にも頭を下げて対応したり、夜遅くまでお客さまへの手紙を書いていた後ろ姿が思い出されます。父の誠実さを通して、人に対する礼節や接し方を自然に学んだのかもしれない。さらに小学生のころから新聞配達をして自転車を買うなど、自分で働いてほしいものを得る経験も重ねました。父は「ほしいものは自分で働いて得る」という方針を貫いており、働くことの意味や重みを身をもって学ぶことができました。

人口減少、そして少子高齢化が進みます。地方の企業活動や私たちの暮らしにさまざまな影響や課題が生まれています。地域の活性化には、ますます人と人とのつながりが必要になるでしょう。この意味からも、東北学院の同窓生が協調すること、絆を深めることが、仙台、宮城の活性化につながるはずであると思っています。仙台銀行にも多くの東北学院出身者がおりますが、東北学院の卒業生は20万人を超えると同いました。皆さんの活躍を期待していますし、私も地域の活性化に寄与する一員になればと思っています。



行員有志によって結成された“ずめ踊り”のチーム「仙台銀行じもと応援ずめ組」。仙台青葉まつりをはじめ、地域のイベントで軽やかに舞い、明るい笑顔で地元を元気づけている。



「絆」を力として 「100年企業」を目指す

当社は昨年、節目となる創立80周年を迎える中、東北地方の旺盛な建設需要状況を背景に売上高、営業利益において過去最高の実績を挙げています。しかし、この結果に甘んずることなく、当社が「ありたい姿・目指すべき会社像」を描いた長期目標である「2030ビジョン」を策定するなど、100年企業、さらにその先を見据えた展開をしているところです。

その柱のひとつとなるのがサステナビリティ経営で、現在、事業所のZEB化や社用車のEV化を進めています。すでに一部事業所でZEB化を推進しその知見をもとに、再生可能エネルギーを最大限活用した設備提供に努めています。また電力の安定供給や自然災害への対応など、設備工事を通じて社会インフラに貢献しています。

「車座対話」で信頼を育む ニアテック流人財育成

私が経営において最も重視しているのは、「人材」です。若手社員の育成と技術力の底上げを図るため、「ユアテック人材戦略」を策定し、教育体制の強化に取り組んでいます。その一環として経営陣が年2回事業所を訪れ、社員と直接対話する「車座対話」を実施しています。現場の声を聴き、経営に反映することが信頼の土台になると考えています。また、経営者として「安全最優先」を掲げています。当社の社員は約3800人、グループ・協力会社を含めれば1万人を超えます。皆の生命と生活を守ることは、何よりも大切な責務です。

私自身、入社以来、営業・施工・管理と幅広い部署を経験してきました。だからこそ、特定の立場に偏らず「全社最適」を意識し、公平な判断を心がけています。どの業務も会社を支える重要な役割であり、互いの力が一体となって初めて成長が生まれると感じています。

「誠実な心」で成長領域へ挑戦

社長に就任したことは大変光栄であると感じており、2代連続でプロパーから社長に就任することの重責に、きわめて身の引き締まる思いです。4月の就任から、まだ日も浅いところですが、トップダウンで指示を下すべきもの、ボトムアップで挙げられた内容について理解した上で指示を出すべきものなど、物事を両面から考え、迅速に課題を解決していく必要があると感じています。日々の事業活動において大切にしなければならぬものは、「誠実な心」であると思っています。これからも多くの皆さまからちょうだいしている信頼を裏切らぬよう、誠実に、そして積極果敢に挑戦を続けてまいります。

今後は、企業グループの技術とノウハウを活かし、成長分野への展開を一層進めていきます。再生可能エネルギー関連工事や省エネ事業、Beyond5G(6G)に伴う通信インフラ整備、老朽化設備の更新など、社会のニーズは広がっています。中でも風力発電に適した北海道・東北地域では、洋上風力の導入目標が大きく掲げられ、将来の市場拡大が見込まれます。また、ZEBプランナーとして培った知見を活かし、リニューアブル工分野でもシェア拡大を目指してまいります。

さらに、海外では30年以上前からベトナムで事業を展開し、政府開発援助(ODA)案件ではアフリカや東南アジアで送電網工事にも携わっています。社員は海外での送電網工事などに従事しており、当社の技術と体制の有効性を実感しています。これからも「安全・品質・信頼」を基本に、地域とともに成長を続けていきたいと思えます。

いまに息づく学生時代の学びと経験

大学時代は、高橋研究室で発電機・電動機の運転制御を研究していました。仲間と切磋琢磨した日々は、いまも心の糧であり、教授から贈られた「切磋琢磨」とい

う言葉を、ずっと大切にしています。その経験は仕事に直結し、トップとしての思考の根底に息づいていると感じています。学生時代の学びは、社会での実践を支える礎になりました。

また、大学時代は卓球部に所属しており、田沢湖乳頭温泉郷の国民スポーツ施設で合宿をしたことが楽しい思い出として残っています。私は主将だったのですが、レクリエーション・宴会部長といった役割だったかと記憶しています。そして卒業旅行では、親友3人と北海道を10日間かけて巡りました。あれもこれも懐かしい思い出です。

社会に出てからも、母校とのつながりは続いています。会社としては五橋キャンパスの建設に携わり、たし、泉キャンパス新築時には私自身も電気設備工事を担当しました。現場で感じたのは、学生が学ぶ場を支えることの喜びでした。現在はユアテックTIG会の顧問として、同窓生のネットワークづくりに力を注いでいます。知識だけでなく、人との関係を大切にすることを学んだことが、仕事の原動力になっています。これからも、母校で培った「人とのつながり」と「学び続ける姿勢」を胸に、地域社会の発展に貢献していきたいと思えます。

このたびは、母校・東北学院大学の同窓会誌にて、皆さまにメッセージを贈る機会をいただき、大変光栄に思っています。学生時代、専門知識の習得はもちろんのこと、仲間と語り合い、ときにぶつかり合いながら築いた人間関係は、私の財産です。社会に出てからも、困難に直面したとき、ふとあの頃の自分を思い出し、勇気をもたらすことがあります。同窓生の皆さまも、それぞれの分野でご活躍のことと存じます。時代は大きく変化し続けていますが、母校で過ごした時間は、私たちの中に確かな軸を与えてくれていて、誇りを感じています。これからも、東北学院大学の卒業生としての誇りを胸に、それぞれのフィールドで力を発揮していただければと願っております。



2023年4月に誕生した東北学院大学「五橋キャンパス」の電気設備工事を担当。さらに創立80周年の記念事業では「海ごみゼロ活動」(全社一斉清掃活動)を実施した。また山形の花笠まつりや仙台のどんと祭裸参りに参加するなど、地域の活性化に貢献している。



※ZEB・ZEB(ゼブ)は「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」の略。省エネと創エネにより、建物の年間エネルギー消費量を実質ゼロに近づける取り組み。



お客さまの声に支えられ 笹かまぼこの価値を 次世代へと高めてまいります

Interview with The President



株式会社鐘崎
代表取締役社長

嘉藤 明美

(かとう・あけみ)

昭和61年東北学院大学経済学部経済学科卒
TG地塩会 会長

東北学院大学経済学部を卒業後、サントリーに入社。結婚を機に退社し、30代は父親が経営する建設会社に勤務した。2003年、縁あって鐘崎に入社。販売促進課長などを経て2016年3月より現職。1歳になる孫の顔を見るのが一番の癒やし。

栄養価の高い笹かまぼこを 次の世代へつなぐ

私たち鐘崎は、来年で創業80年目を迎えます。仙台で生まれた笹かまぼこの食文化を大切にしながら、職人の技と品質本位のものづくり、自社で責任をもってお届けする販売体制で歩んできました。これまでは贈答や観光の土産といったイメージが強かった笹かまぼこですが、魚がもつたんぱく質の豊富さや機能性を見直し、日々の健康維持に役立つ「毎日の一品」として価値を高めたいと考えています。お子さまからご高齢の方まで、忙しい日の朝や小腹が空いた時にも、手軽に栄養がとれるひと品に育てることが目標です。現在は、仙台の海に育まれた恵みと、地域のお客さまに支えていただいた歴史を土台に、これからの鐘崎がどう成長できるかを、節目の年を前に社内で丁寧に描き直しているところです。

異業種連携で見えてきた 新たな資源活用の道

近年は自然環境、特に海の状況に着目して原料確保や食品ロスなどの課題にも正面から向き合い、また固定観念にとらわれることなく、異業種の力を掛け合わせる挑戦を始めています。日本航空(JAL)さんが日本各地で地域課題の解決に取り組む「ふるさとアンバサダー」という活動を通じてご縁をいただき、規格外で販売されない三陸わかめとイカスミを活用した黒い笹かまぼこ「仙臺BLACK」が誕生しました。もし私たちがだけなら、「黒い笹かまぼこ」を商品化する勇氣はもてなかったかもしれません。空港内での取り扱いや、仙台と各地を結ぶ便との連携など、観光との接点も広がりました。「もったいないを価値に変える」取り組みとして、手応えを感じています。



世代を超えたTGの輪

躍動する同窓生

PROGRESS

また、商品は単なる価格の高低を超えて、つくる過程や背景の物語が選ばれる理由になります。保存料やデンプン、卵白などを使用しない無添加への挑戦を含め、お客さまの声から生まれた改良は少なくありません。このような笹かまぼこがもつ魅力を、パッケージや情報発信でもわかりやすく伝えていきます。インバウンドのお客さまにとっても、海の資源を無駄なく使う姿勢やストーリーは、共感の入口になるはずです。実は、当社は笹かまぼこ製造の企業としては後発なのです。ですから、その強みとも言える「チャレンジャー精神」を原動力に、異分野とのネットワークを広げ、新しい価値を生み出していきたいと思っています。

仲間と自立心を鍛え 協働の楽しさを味わう

大学時代は、工学部にあった基礎スキー部に入り、その活動に打ち込みました。3年次までに単位を計画的に取り切って、冬休みはスキー部の合宿で鍛え、夏休みはアルバイトに勤しみました。父が建設業を営んでおり、その多角経営の中に弁当店もあったのですが、学生だった私は、部の仲間たちに声をかけ、そこで一緒にアルバイトをして合宿の費用を貯めたわけです。この経験から仕事を進めるうえでの段取りの大切さを知りましたし、チームワークの基礎が培われたと言っても良いと思います。

私が大学を卒業するころは、就職難と言われた時代でしたので、大変な思いをして何とか就職することができました。その後、仕事をしながら結婚や子育て、家業を支える時期を経て、縁があって鐘崎に入社することになったのです。それから、経営者であった父が背中であげてくれた「働くことは人生そのもの」という言葉を胸に、自分で考え、与えられた環境で力を尽くす姿勢を貫いてきたと自負しています。あとから振り返

れば、学生時代の経験の一つひとつが、現在の経営判断の土台になっていると感じます。

お客さまの声に耳を澄ませ 地域とともに未来へ

私の一日は朝、全国から届くメールやアンケートがきを読むことから始まります。「昔と変わらぬ味に安心しました」「帰省のたびに家族の思い出がよみがえります」といった声が、笹かまぼこが暮らしの記憶と結びついていることを教えてくれます。守るべきはお客さまとの信頼。しかし変えるべきことは恐れず変える。そのバランスをとりながら挑戦を続けます。また、自社で完結させがちな体制も見直し、海とまち、企業と大学、人と人をつなぐ「開かれたものづくり」へ舵を切りました。社内では失敗も歓迎し、小さな試作と検証を積み重ねています。お客さまの声は毎朝のミーティングで共有し、翌日の改善へつなげます。その繰り返しで競争力を高めています。

実は昨年、同窓会の一組織「TG地塩会」の会長を仰せつかり、行政や地元企業などとの連携を強化しています。仙台市と意見交換を重ね、人口減少や働き手不足といった課題に同窓生ネットワークや大学と力を合わせて取り組んでいます。同窓生というだけで距離が縮まり協働できる。その強みを地域の活力に変え、学生の起業後押しや地元で学び、働くことのできる環境づくりに尽力します。

将来像は明快です。80年の節目を出発点に、笹かまぼこの可能性と仙台の海の恵みを次の10年、そして100年先へと届ける。そのためにも今日もお客さまの声に耳を澄ませ、地域とともに歩みます。笹かまぼこを「仙台の名物」から「世界の日常食」へ。手に取った一枚が次の出会いにつながる良い循環を、社員一同で実現していきます。



TG Gallery
ラーハウザー記念東北学院礼拝堂
Taku Furuyama

絵／古山 拓 昭和61年東北学院大学文学部史学科卒。昭和37年岩手県生まれ。アニメーター、広告制作会社勤務を経て、画家・イラストレーターとなる。全国各地で風景水彩画の個展を開催。日仏現代美術博「ARTEC 造形美術賞」受賞。イタリア・ファブリアーノ開催世界水彩展に展示。アトリエ名／ランズエンド。絵本、児童書の絵も手がけ、代表作に「一本の木がありました。」(PIE International)「あなたの一日が世界を変える」(PHP研究所)「13枚のピンぼけ写真」(岩波書店)ほか多数。



杜のこんだて Café

[Mori No Kondate Cafe]

鐘崎総本店 笹かま館には、お食事をお楽しみいただける「杜のこんだてCafé」が併設されています。すり身を基本に、地元食材や旬の海の幸・山の幸を組み合わせた“和惣菜”のおいしくヘルシーなカフェごはんを提供していますので、お気軽にご利用ください。

【住所】宮城県仙台市若林区鶴代町6-65

【営業時間】10:00~17:00 (LUNCH TIME 11:00~15:00[L.O.14:30])

※お惣菜やお弁当などのテイクアウト商品も取り揃えております。



左は共同オーナーの大湯 義秀さん

弘前のまちとともに 歩み続ける 心も温まるカフェを目指して



取材MEMO

地元ゆかりのあるアーティストの作品を
店内に展示して応援

店内には多彩なアート作品を無料で飾り、地域で活躍する人を応援しています。取材時に紹介されていたのはアーティストPUJORUの作品でした。若い表現者を後押しする場となり、作品が加わることで空間は一層温かく華やき、常連客からも高い評価を得ています。

Dolf.(ドルフ)

青森県弘前市土手町132-2 1F
TEL.080-1270-2627

[営業時間]
(モ-ニング) 8:00~10:30
(平 日) 8:00~16:00
(土日祝) 8:00~18:00
(ラストオーダーは閉店30分前まで)

[定休日] 火曜日

*ドリンクのみテイクアウト可

*予約サイト <https://dolf-nakadote.square.site>



懐かしい風 新しい出会い

同窓生のお店を訪ねて



Dolf.



Dolf.(ドルフ) オーナー・パンケーキ 高屋 風我

(たかや・ふうが)

令和2年東北学院大学文学部英文学科卒業

アルバイトで芽生えた起業の志

弘前市の中心街、土手町。ホテルや商店が並び通りに、朝8時の開店を待つ人々の列ができる店がある。「Dolf.(ドルフ)」は、パンケーキの香りでまちを目覚めさせるカフェで、その看板メニューは、塩気の効いた具材にメイプルシロップなどを合わせて楽しむ「ミールパンケーキ」と、毎月替わるスフレパンケーキ。リングやブルーベリーなど、地元の旬を生かしたひと皿は、観光客にも人気が高い。その経営者の一人である高屋風我さんに、この店を開くに至るきっかけを伺った。

「大学時代、東北一の歓楽街である国分町でアルバイトをされていて、そこで国分町に店を構えるオーナーさんたちと出会いました。キラキラしていて、それでいて人の面倒見がよく、とても格好良かったです。そんな大人を見て、いつか自分も経営者になりたいと思うようになりました」と高屋さん。大学卒業後、一度は社会をしっかりと見ようと就職して会社勤めを経験した後、中学からの旧友である大湯義秀さんから「起業しないか」と誘われ、夢が現実味を帯び始めた。その後、資金を得るために二人で関東圏において複数の仕事をかけもちしながら飲食業界についても学びを重ね、2023年9月、地元弘前へ戻り、わずか3カ月で融資や内装を整えた。「業者さんたちが尽力してくださり、工事が終わったのはオープンの日3日前。寝ずに準備したことは忘れられません。」

当初は「起業して成功したい」といった思いが先行していた高屋さん。「しかし、地域の人々に支えられる中で、「自分たちだけの店じゃない」と気づきました。それからは、この街に貢献したいという気持ちが一番になりました」と、心境の変化について話す。

地元の魅力を発信したい

「学生時代はアルバイトが楽しくて夢中になっていましたが、学校の先輩や友人、恩師のおかげで卒業できました。いまにつながる出会いも多く、大学生活は志を育む時間だったと思います」と、高屋さんは大学時代を振り返る。

弘前に戻ろうと思えたのも、青森県外に出て気づいた土地の魅力があったからだ。「自然や食の豊かさ、人のつながり、桜やねぶたの季節感。離れてみて初めて恋しくなりました。」

「一日の始まりの場所」を掲げ、この店ならではのミールパンケーキで朝食文化を提案する「Dolf.(ドルフ)」。ドイツ語の「田舎」という意味の単語に由来し、「長く地域に愛される店に」という願いが込められている。共同経営者の大湯さんについては、「いまは友人というよりよきパートナー。性格は真逆でよくぶつかりますが、信頼があるから言い合えるんです。彼だったからこそ、この速度で走ってこれました」と話す。

最後に今後の抱負を尋ねると、「ここ弘前で朝食を含めた外食文化を醸成したいですし、弘前の魅力をうちの皿で伝え続けていきたいです」と語った。

2025(令和7)年度東北学院同窓会代議員会議案

日時：2025(令和7)年5月15日(木)13:45～ 場所：仙台国際ホテル 2階「平成の間」

議事については以下の通り

議 事

- (1) 学校法人東北学院評議員の推挙について(報告)(了承)
- (2) 東北学院同窓会 T G 会の名称変更等について(報告)(了承)
- (3) 2024年度東北学院同窓会庶務報告(了承)
- (4) 2024年度東北学院同窓会支部・T G 会等開催報告(了承)
- (5) 2024年度東北学院同窓会支部・T G 会活動費補助利用状況報告(了承)
- (6) 2024年度東北学院同窓会収支決算報告(承認)

- (7) 2024年度東北学院同窓会財産目録(承認)
- (8) 2024年度東北学院同窓会監査報告(承認)
- (9) 東北学院同窓会奨学育英事業運営委員会2025年度申し合わせ事項(承認)
- (10) 2025年度東北学院同窓会事業計画(案)(承認)
- (11) 2025年度東北学院同窓会収支予算(案)(承認)
- (12) 東北学院同窓会役員を選任について(承認)

2025(令和7)年度 東北学院同窓会収支予算書

自 2025(令和7)年4月1日
至 2026(令和8)年3月31日

収入の部				支出の部			
科 目	2025年度予算額	2024年度予算額	予算増減(25年度-24年度)	科 目	2025年度予算額	2024年度予算額	予算増減(25年度-24年度)
前年度繰越金	15,485,577	24,809,162	△9,323,585	総 会 費	700,000	700,000	0
入 会 金	10,044,000	10,476,000	△432,000	集 会 費	4,000,000	4,500,000	△500,000
大 学 院	48,000	45,000	3,000	旅 費 交 通 費	6,500,000	6,000,000	500,000
文 学 部	1,374,000	1,425,000	△51,000	活 動 補 助 費	4,000,000	4,000,000	0
経 済 学 部	1,290,000	1,308,000	△18,000	印 刷 費	7,500,000	7,600,000	△100,000
経 営 学 部	948,000	981,000	△33,000	通 信 費	1,800,000	1,800,000	0
法 学 部	993,000	1,095,000	△102,000	広 報 費	2,500,000	2,500,000	0
教 養 学 部	0	0	0	ク リ ス マ ス 費	300,000	300,000	0
工 学 部	969,000	1,011,000	△42,000	TG十五日会費	5,500,000	5,500,000	0
地域総合学部	792,000	861,000	△69,000	事 業 費	3,000,000	3,000,000	0
情 報 学 部	486,000	516,000	△30,000	人 件 費	0	5,200,000	△5,200,000
人間科学部	474,000	525,000	△51,000	業 務 委 託 費	7,500,000	11,200,000	△3,700,000
国際学部	354,000	375,000	△21,000	福 利 厚 生 費	800,000	800,000	0
高 校	657,000	990,000	△333,000	会 議 費	1,200,000	850,000	350,000
榴ヶ岡	1,119,000	798,000	321,000	備 品 費	300,000	300,000	0
中 学 校	540,000	546,000	△6,000	事 務 費	250,000	250,000	0
会 費	43,593,000	44,500,000	△907,000	雑 費	1,000,000	1,000,000	0
大 学 院	441,000	588,000	△147,000	オリジナル品製作費	3,500,000	3,000,000	500,000
文 学 部	5,658,000	5,787,000	△129,000	サテライトステーション	0	50,000	△50,000
経 済 学 部	5,985,000	6,756,000	△771,000	光 熱 費	100,000	900,000	△800,000
経 営 学 部	4,203,000	4,305,000	△102,000	同窓会奨学事業費	5,000,000	5,000,000	0
法 学 部	4,488,000	4,566,000	△78,000	助 成 金	5,000,000	9,500,000	△4,500,000
教 養 学 部	1,353,000	2,802,000	△1,449,000	貯 蔵 品 評 価 損	0	150,000	△150,000
工 学 部	4,773,000	5,040,000	△267,000	小 計	60,450,000	74,100,000	△13,650,000
地域総合学部	2,766,000	1,881,000	885,000	予 備 費	10,242,577	9,715,162	527,415
情 報 学 部	1,791,000	1,221,000	570,000	次年度繰越金			
人間科学部	1,590,000	1,095,000	495,000	合 計	70,692,577	83,815,162	△13,122,585
国際学部	1,194,000	810,000	384,000				
高 校	2,181,600	2,583,000	△401,400				
榴ヶ岡高校	1,686,600	1,463,400	223,200				
中 学 校	982,800	1,002,600	△19,800				
会 員 会 費	4,500,000	4,600,000	△100,000				
業務委託収入	0	2,400,000	△2,400,000				
TG十五日会費	1,500,000	1,500,000	0				
TG会館建設資金並びに運営資金繰入収入	0	0	0				
雑 収 入	70,000	130,000	△60,000				
合 計	70,692,577	83,815,162	△13,122,585				

※TGSS:東北学院サテライトステーション

科目間及び予備費の流用については、三役会議の了承を得て執行いたします。

TG会館建設資金並びに運営資金	前期末残高	当期繰入金額	当期末残高	備 考
	200,000,000	0	200,000,000	七十七銀行、仙台銀行

2024(令和6)年度 東北学院同窓会収支決算書

自 2024(令和6)年4月1日
至 2025(令和7)年3月31日

収入の部				支出の部			
科 目	2024年度予算	2024年度決算	増減	科 目	2024年度予算	2024年度決算	増減
前年度繰越金	24,809,162	24,809,162	0	総 会 費	700,000	216,260	483,740
入 会 金	10,476,000	10,623,000	147,000	集 会 費	4,500,000	2,870,000	1,630,000
大 学 院	45,000	39,000	△6,000	旅 費 交 通 費	6,000,000	6,487,430	△487,430
文 学 部	1,425,000	1,479,000	54,000	活 動 補 助 費	4,000,000	2,863,311	1,136,689
経 済 学 部	1,308,000	1,344,000	36,000	印 刷 費	7,600,000	6,731,774	868,226
経 営 学 部	981,000	990,000	9,000	通 信 費	1,800,000	1,496,540	303,460
法 学 部	1,095,000	1,095,000	0	広 報 費	2,500,000	1,677,500	822,500
教 養 学 部	0	12,000	12,000	ク リ ス マ ス 費	300,000	217,679	82,321
工 学 部	1,011,000	1,041,000	30,000	TG十五日会費	5,500,000	4,447,135	1,052,865
地域総合学部	861,000	861,000	0	事 業 費	3,000,000	2,691,189	308,811
情 報 学 部	516,000	516,000	0	人 件 費	5,200,000	4,124,302	1,075,698
人間科学部	525,000	531,000	6,000	業 務 委 託 費	11,200,000	10,667,965	532,035
国際学部	375,000	375,000	0	福 利 厚 生 費	800,000	504,382	295,618
高 校	990,000	990,000	0	会 議 費	850,000	972,246	△122,246
榴ヶ岡	1,119,000	798,000	321,000	備 品 費	300,000	0	300,000
中 学 校	546,000	552,000	6,000	事 務 費	250,000	199,166	50,834
会 費	44,500,000	43,754,250	△745,750	雑 費	1,000,000	740,407	259,593
大 学 院	588,000	378,000	△210,000	オリジナル品製作費	3,000,000	2,928,700	71,300
文 学 部	5,787,000	5,703,000	△84,000	サテライトステーション	50,000	758,000	△708,000
経 済 学 部	6,756,000	6,669,000	△87,000	光 熱 費	900,000	873,871	26,129
経 営 学 部	4,305,000	4,248,000	△57,000	同窓会奨学事業費	5,000,000	3,520,000	1,480,000
法 学 部	4,566,000	4,512,000	△54,000	助 成 金	9,500,000	12,500,000	△3,000,000
教 養 学 部	2,802,000	2,742,000	△60,000	貯 蔵 品 評 価 損	150,000	181,500	△31,500
工 学 部	5,040,000	4,917,000	△123,000	小 計	74,100,000	67,669,357	6,430,643
地域総合学部	1,881,000	1,869,000	△12,000	予 備 費	9,715,162	0	9,715,162
情 報 学 部	1,221,000	1,212,000	△9,000	次年度繰越金		15,485,577	
人間科学部	1,095,000	1,092,000	△3,000	合 計	83,815,162	83,154,934	△660,228
国際学部	810,000	801,000	△9,000				
高 校	2,583,000	2,566,650	△16,350				
榴ヶ岡高校	1,463,400	1,526,250	62,850				
中 学 校	1,002,600	1,000,350	△2,250				
会 員 会 費	4,600,000	4,518,000	△82,000				
業務委託収入	2,400,000	2,400,000	0				
TG十五日会費	1,500,000	1,327,500	△172,500				
寄 付 金	0	0	0				
TG会館建設資金並びに運営資金繰入収入	0	0	0				
雑 収 入	130,000	241,022	111,022				
合 計	83,815,162	83,154,934	△660,228				

※TGSS:東北学院サテライトステーション

全国に活動の場を広げる

全国 86支部 124TG会
同窓生総数 206,048人

TGネットワーク

全国の支部・TG会 北から南から

Around Japan

同窓会支部一覧 86支部

2025(令和7)年5月1日現在

宮城県	北海道	岩手県	山形県	関東	東海・近畿
仙台同窓会	札幌支部	盛岡支部	山形支部	東京支部	東海支部
青葉支部	旭川支部	一関支部	上山支部	神奈川支部	静岡支部*
泉支部	岩見沢支部	奥州支部	寒河江支部	栃木県支部	近畿支部
太白支部	帯広・十勝支部	釜石支部	酒田支部	群馬支部	
宮城野支部	釧路支部	北上・和賀支部	新庄支部	武蔵野支部	
若林支部	函館支部	気仙支部	天童支部	水戸支部	
太白支部秋保地区TG会	室蘭支部*	宮古支部	米沢支部		
宮城野支部岩切TG会					
宮城野支部高砂TG会	角田・丸森支部				
利府支部	白石支部				
塩釜支部	黒川支部	秋田県	福島県	信越・北陸	中国・四国・九州
多賀城支部	八戸支部	秋田県中央支部	福島県北支部	新潟支部	広島支部
松島支部	大崎支部	秋田県大館支部	会津支部	信州支部*	四国支部*
鳴瀬支部	登米支部	秋田県南支部	いわき支部	北陸支部	九州支部
石巻支部	美里支部		郡山支部		
女川支部	上十三支部		相馬支部		
志津川支部			南相馬支部		
気仙沼支部			双葉支部*		
				北米	
				北米支部	

*は活動休止中

TG会一覧 124TG会

2025(令和7)年5月1日現在

アーサナス同窓会	コクヨグループTG会	TGしびる技術士会	日比谷総合設備グループTG会
アイリスグループTG会	コセキTG会	TG鍼灸接骨師会	藤崎TG会
青森みちのく銀行TG会	裁判所TG会	TGスポーツOB・OG連合会	富士フィルムビジネスイノベーション/宮城支社TG会
秋田市役所TG青葉会	佐藤製線グループTG会	TG地塩会	復建TG会
ALSOK宮城TG会	三機工業グループTG会	TG地理学同窓会	古川工業高等学校TG会
石巻市役所TG会	七十七銀行TG会	TGパシコングループ会	古川電気工業TG会
石巻信用金庫TG会	清水建設TG会	TG薬剤師会	ペガルト仙台TG会
泉女子寄宿舎同窓会	職業会計人TG会	電気工学TG会(コスモス)	弁護士TG会
岩手医大TG会*	書道人TG会	デンタルTG会	法学部同窓会
岩手県教職員TG会*	シロキヤ・オフィスベンダーTG会	東邦銀行TG会	舗装TG会
岩手県庁TG会	神学TG会	東北運輸局TG会	北海道教職員TG会
エイエイピーTG会	JR東日本TG会	東北学院高等学校二部TG会*	マンパワーグループTG会
NTTグループTG会	仙台銀行TG会	東北学院3L会	水戸屋TG会
遠藤商事TG会	仙台国際ホテルTG会	東北学院大学オリエンテーション・リーダーTG会	宮城県議会議員TG会
応用物理TG会	仙台市議会議員TG会	東北学院中学校・高等学校同窓会	宮城県警TG会
大木建設TG会	仙台市役所TG会	東北学院中学高等学校寄宿舎同窓会	宮城県宅地建物取引業協会TG会(宮宅建TG会)
大崎市役所TG会	仙台青年会議所中高TG会	東北学院榴ヶ岡高等学校同窓会	宮城県庁TG会
角田市役所TG会	セントTG会	東北厚生局TG会	宮城第一信用金庫TG会
鹿島グループTG会	銭高組TG会	東北高等学校TG会	宮城ダイハツTG会
兜町TG会	全日本不動産協会宮城県本部TG会	東北コムTG会	宮城トヨタグループTG会
釜石市役所TG会	総合警備保障TG会	東北放送TG会	宮古市役所TG会
川口印刷工業TG会	大成建設グループTG会	東北マツダTG会	明治安田生命TG会
北日本銀行TG会	太平洋エンジニアリングTG会	東洋熱工業(株)東北支店TG会	メットライフ生命TG会
基督教学科TG会	高砂熱学工業TG会	戸田建設TG会	盛岡市役所TG会
キリスト者TG会	タカラスタンダードTG会	凸版印刷TG会	杜の都信用金庫TG会
教養学部TG会	多賀城寄宿舎同窓会	ドクターTG会	守屋グループTG会
行政書士TG会	多賀城市役所TG会	土木教員宮城TG会	ユアテックTG会
建設TG会	竹中TG会	西原グループTG会	リコージャパン宮城支社TG会
工学部機械TG会	帝国データバンクTG会	能美防災TG会	
弘進コムTG会	鉄鋼TG会	バイタルネットTG会	
コカ・コーラボトラーズジャパンTG会	TG史学同窓会	東九番丁寄宿舎(北黎寮)TG会	
古久根建設TG会	TGしびる会	日立キャピタルTG会*	

*は活動休止中

*支部、TG会等の活動予定については、東北学院時報に掲載しております。支部、TG会等の活動に関する情報を校友課までお知らせください。

仙台で育んだ絆を胸に、 近畿の地で温かくつながり続ける同窓会です。

Faces



東北学院同窓会 近畿支部 支部長

国吉 毅 (くによし・たけし)

昭和43年東北学院大学経済学部商学科卒



profile

仙台市出身。昭和43年に東北学院大学経済学部商学科を卒業後、商社に勤務し大阪で社会人生活をスタート。その後、携帯用カイロに関する検査業務の事業で起業。2018年より同窓会近畿支部長を務める。学生時代は卓球部に所属し、現在の趣味は山登り。

同窓会ネットワークを支える この人 この顔

— 近畿支部の活動について教えてください。

私たちは、総会をはじめ新年会やお花見の会、納涼会、秋の芋煮会などを中心に、年間を通してさまざまな催しを行っています。これに女子会も加わり、和やかな雰囲気の中で同窓生同士が交流を深めています。現在は2府4県(大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県)にわたって約350名のメンバーが登録しており、集まるたびに旧交を温め合う貴重な場となっています。

近畿支部の大きな特色は、何といても仲間意識の強さと人の温かさです。仙台と近畿地方は「心が温かい」という点が似ていると感じており、どこか人情味のある雰囲気が根底にあります。特に、事務局 戸田副支部長をはじめとする皆さんの協力があるからこそ支部運営は成り立っており、一人ひとりの声を聞きながら丁寧に活動をつないでいます。「東北学院の卒業生は、まとまりがよい」とよく言われますが、まさにその言葉通り、仙台で過ごした学生時代の思い出や母校への愛着が近畿の地での絆を強めています。2019年に行った100周年記念行事も無事に終えることができ、歴史を振り返るとともに、新しいつながりが広がった意義深い節目となりました。

— 今後の抱負を教えてください。

私自身、仙台での学生時代は、もっとも楽しかった時間であると思っています。卓球部で汗を流した日々もよい思い出で、同窓生の多くもきっと同じようにお

感じではないでしょうか。

近畿支部では、総会の席で礼拝を行い、讃美歌を歌う機会を設けるなど、学生時代を懐かしく思い出せる時間を共有しています。女性会員が奏でるハンドベルの美しい音色も好評です。関西に暮らす同窓生の人柄は、仙台の仲間と同じように思いやりにあふれています。だからこそ、ここでのつながりは長く続き、親子二代にわたる同窓生も生まれています。

私は2018年から支部長を務めていますが、これからも皆さんと力を合わせながら、温かな絆を絶やすことなく未来につなげていきたいと考えています。若い世代の方々にもぜひ参加していただき、世代を超えて交流を重ねられる組織でありたいです。これから先も200年、300年と続いていく支部であるように、一歩ずつ歩んでいきます。ぜひ、総会などの案内状が届きましたら、ひと言でも近況を添えてご返信いただければ、事務局一同大変励みになりますので、よろしくお祈りします。



近畿支部の幹事の皆さん(写真左)と、今年の総会の案内状に同封された活動報告の冊子(写真右)。

東北学院校歌

E.H.ゾーグ 作詞・作曲
青木義夫 訳詞

一、 若人われらの理想の国は
青葉の都よ

ああ東北学院
(おりかえし)

世の光 わがほこり
いざほめよや 友よ
もろごえあわせて
われらの学院

二、 大路ひとすじにたどり行けば
ちえの泉わく

ああ東北学院

三、 いくよ培いし大和心
神の愛に咲く

ああ東北学院

四、 命をささげし真^{まこと}の人
うたわるるいずこ

ああ東北学院

五、 教えのみ母よ汝^ながこころは
地のきわみまでも

ああ東北学院

校友課より

「個人情報保護法」への取り組みについて

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院では園児・生徒・学生をはじめ卒業生等の個人情報の取り扱いについて「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定め、個人情報の適正な管理と保護に務めています。

校友課では、東北学院同窓会の運営に必要な皆様の個人情報をお預かりしていますが、今後とも個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。詳細については、東北学院ホームページに掲載していますのでご覧ください。

なお、東北学院同窓会で使用する個人情報の利用目的は、次の通りです。

- ◇「東北学院時報」並びに「3L通信—Lux Mundi」の送付
- ◇「東北学院時報」購読料並びに同窓会費の徴収に関わる事務
- ◇各支部・TG会などが主催する総会及び行事の案内
- ◇その他、上記に関連する業務

住所等変更届のお願い

同窓生の皆様には、お名前・ご住所・電話番号に変更が生じましたら、お手数でも校友課までご連絡くださいますようお願いいたします。お預かりする皆様方の個人情報は慎重に取り扱い、同窓会に関する利用目的以外には使用いたしません。特に「東北学院時報」と「3L通信—Lux Mundi」は、皆様と母校を結び通信手段として欠かせないものですので、ぜひご協力をお願いいたします。なお、住所変更届は東北学院同窓会ホームページからも行うことができます。



2025年度同窓会費(時報購読料を含む3,000円)納入のお願い

多くの同窓生の皆様のご協力をお願いいたします。
同姓同名の同窓生がいます。納入する際、東北学院時報の宛先
帯封の9桁番号も必ずお知らせ下さい。

<以下①②③のどの方法でも納入できます>

①ゆうちょ銀行で、同窓会送金専用の払込取扱票で送金。

②ゆうちょ銀行以外の金融機関の窓口・ATMで送金。

氏名の後に、帯封の9桁番号を必ずご記入(入力)ください。
振込み先口座は以下の通り。

【銀行名】ゆうちょ銀行 (金融機関コード:9900)

【支店名】二二九店(ニニキユウ店) (店番:229)

【受取人】トウホクガクインドウソウカイ(東北学院同窓会)

【預金種目】当座

【口座番号】0000883

③ネットバンキングで送金。振込み先口座は②と同様。

帯封の9桁番号を必ずご入力ください。入力できない時は、
dousou@mail.tohoku-gakuin.ac.jp(同窓会事務局)にご連絡ください。

発行日/2025(令和7)年12月1日

発行所/東北学院同窓会(事務局:庶務部校友課)

発行人/森山 博(東北学院同窓会長)

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

TEL.022-264-6468 FAX.022-214-0404

URL : <https://www.tg-alumni.jp>

E-mail : dousou@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

印刷/株式会社ユーメディア

東北学院同窓会 同窓会報

3L 通信 LUX MUNDI

VOL.28
2025 12月号

東北学院同窓会「ルクス・ムンディ ～世の光～」は、東北学院同窓会のホームページからもご覧いただけます。
URL : https://www.tohoku-gakuin.jp/about/publications/lux_mundi.html

